



プレスリリース

2011年1月25日

更なる情報は

Bjorn Beeler +1 510-710-0655

安間武 080-6527-3123

## 水銀汚染魚警告：

### 缶詰のツナが国際水銀条約交渉の政府代表に提供される

【千葉、日本】世界水銀条約交渉委員会第2回会合への各国代表者は、水銀汚染警告カードとともにツナカナツペを味わう機会を得るであろう。

本日、1月25日（火）午後1時、国際POPs廃絶ネットワーク（IPEN）のメンバーは300個のツナ缶カナツペを振舞う。缶詰のビンナガマグロは、1週間に1回、摂食すると子ども、妊婦、妊娠可能年齢の女性に勧告されるレベルを超える<sup>1</sup>。魚の試食は幕張メッセ国際会議場センター2階の本会議場前で行なわれる。

日本の水俣被害者は、魚やその他の魚介類の水銀で中毒を起こした。日本と世界は、水銀条約が全ての人為的水銀汚染源をなくすことにより、安全に魚を食べられるようにしなければならないと、化学物質問題市民研究会（日本）の安間武は述べた。

世界の多くの開発途上国の約60%は、彼らの動物性蛋白質の30%以上を魚から摂取していると推定される<sup>1</sup>。

我々は代表者らが魚食民の観点から水銀条約を交渉するよう望む“とクック島を拠点とする島嶼国持続可能性連合のイモゲン・イングラムは述べた。”小さな島国の途上国は食物を魚に依存しており、会議への代表者は我々の子どもたちを守るよう行動しなければならない“。

マグロや他の魚に蓄積する水銀は、特に有毒なメチル水銀であり、それらは主に石炭火力発電所やセメント工場から排出されるものに由来する。水俣のように化学製造プロセスで使用される水銀触媒もまた、もうひとつの重要な汚染排出源である。

その他の排出源には水銀含有製品や機器、金属精錬、リサイクル、廃棄物投棄、焼却などがある。

水銀は、環境中で微生物によりメチル水銀に変換され、それは大きな魚が小さな魚を食べることにより、食物連鎖中で蓄積する。

大気を通じての長距離移動は水銀を世界的な問題にする。高いレベルの水銀が、例えば北極のように排出源から遠く離れた場所で検出される。

####

水銀に関する背景情報と参照は下記をダウンロードすること。

“An NGO Introduction to Mercury Pollution” on the IPEN Mercury-Free Campaign website:, <http://www.ipen.org/hgfree/>

IPEN は109 カ国で活動する700 以上の健康環境団体の世界的ネットワークである。このネットワークは元々、残留性有機汚染物質 ( POPs ) と呼ばれる有害化学物質人の健康と環境を守るための世界条約の交渉を促進するために設立された。その後、POPs に関するストックホルム条約が政府によって採択されると、IPEN はその使命をPOPs を超えて拡張し、現在は、有害化学物質への曝露により引き起こされる危害から人と環境を守るために、地元、国家、地域、国際的取り組みを支援している。

. [www.ipen.org](http://www.ipen.org)